

生理学研究所研究会「極限環境適応」

学術変革領域「冬眠生物学」共催

代表者: 金尚宏

名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所・生命農学研究科

所内対応者: 榎木亮介

生理学研究所・生命創成探究センター

会期: 2021年11月11日(木) 13時頃 -- 2021年11月12日(金) 12時頃

会場: オンライン (Zoom) またはハイブリッド開催 参加申し込み期間: 2021年10月1日 ~ 10月30日 (予定)

### 11月11日(木)

13:00~13:10 代表者の挨拶と趣旨説明 (榎木、金)

#### セッション1

13:10~13:40 演題1

砂川玄志郎 理化学研究所 生命機能科学研究センター

「能動的低代謝による極限環境適応: マウスを用いた休眠研究」

13:40~14:10 演題2

金尚宏 名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所・生命農学研究科

「体内時計の温度特性を担う祖先的な低温応答シグナル」

Break 10 min

#### セッション2

14:20~14:50 演題3

豊田正嗣 埼玉大学大学院 理工学研究科

「植物の長距離・高速情報伝達を視る」

14:50~15:20 演題4

荻沼政之 大阪大学 微生物病研究所

「ターコイズキリフィッシュの発生休眠機構の解明」

Break 10 min

#### セッション3

15:30~16:00 演題5

荒川和晴 慶應義塾大学 先端生命科学研究科

「極限環境生物クマムシはどのようにして生と死のはざまを生きるか」

16:00～16:30 演題6

井町寛之 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

「海底アーキアの生き方から考える私たち真核生物の成り立ち」

16:30～ 自己紹介/交流会

## 11月12日(金)

セッション4

9:00～9:30 演題7

杉拓磨 広島大学大学院 統合生命科学研究科

「動物集団による状態転移と高分解能ライトフィールド顕微鏡開発」

9:30～10:00 演題8

後藤彩子 甲南大学 理工学部

「女王アリの長期間にわたる精子貯蔵メカニズムの解明に向けて」

Break 10 min

セッション5

10:10～10:40 演題9

吉村崇 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所・生命農学研究科

「季節や月のリズムと動物の環境適応戦略」

10:40～11:10 演題10

山口良文 北海道大学 低温科学研究所

「冬眠する哺乳類が低温に耐える仕組みは何か？」

11:10～11:40 演題11 榎木亮介 生理学研究所/生命創成探究センター

「極低温環境下の概日リズム」

11:40～ 閉会の挨拶、次回日程の確認など（榎木、金）